

普及啓発について

1. 行政を対象とした定期研修の実施

沖縄県内でヒアリが発見された場合、住民からの通報が集中し、県や環境省がその処理に追われて機能不全に陥る危険性があることから、様々な関係機関が「ヒアリの可能性が高い」と判断できるようになる必要がある。また、日本国内での発見事例ではコンテナヤードの地面やコンテナの内部からの発見が最も多いため、港湾関係者や物流関係者が第一発見者となる場合が多く、それら関係者にヒア리를識別する技術の習得が求められる。

2019 年度現在、沖縄県内で実施している研修対象者は以下のとおりである。関係機関が分担して、各対象に適した内容で実施している。なお、担当者の人事異動等を踏まえ、本研修は毎年継続的に行うことが体制の維持には必要となる。

対象者	主催者	内容
市町村担当者	環境省	ヒアリの見分け方など
保健所職員、空港関係者	沖縄県	ヒアリの見分け方、これまでの通報事例の共有など
港湾管理者、トラック協会、	港湾管理者	ヒアリの見分け方、発見時の対応の流れなど

沖縄県が主催する同定研修を以下に示す。沖縄県で提供する研修では、保健所や空港関係者が、ヒア리를種レベルで特定できなくても、「ヒアリの可能性が高い」もしくは、「ヒアリではない」と判断できるようになることを目的としたプログラムとなっている。

【概要】

研修名	ヒアリ等同定研修
内容	ヒアリ等についての概要説明、ヒアリの見分け方、ヒアリ対応マニュアルの共有
所要時間	1時間
会場	保健所や公民館、博物館などの会議室。 机、テーブルがあり、プロジェクター投影が可能なスクリーンがある場所。
講師	ヒア리를研究している研究機関の職員
対象者	保健所スタッフ、市町村担当者、博物館スタッフ等
参加人数	10～60人／1回

【内容】

時間	内容
00:00	開始／担当者挨拶／研修スケジュール案内
00:05	(1) ヒアリ等概要説明
00:20	(2) モニターを使ったヒアリ同定
00:35	(3) 実物を使った同定体験
00:45	(4) ヒアリ対応マニュアルの共有
00:55	(5) 質疑応答
01:00	終了



ヒアリに似たアリをモニターに映して判別する体験



参加者間の情報共有の場としても活用できる

2. 一般を対象とした報道とワークショッププログラム

一般への情報周知には、報道機関と連携した情報発信が最も効果的だと思われる。実際、子供を対象とした研修プログラム実施に先立ち実施したアンケート調査によっても、日本におけるヒアリ初記録以降一連の報道によって、「ヒアリ」という用語の浸透度が高くなっている傾向がみられる。

ヒアリの監視調査や研修実施、または作業部会開催等、折に触れて意識的かつ積極的にメディアを通じて情報発信を行うことが、現在一般にも認識されているヒアリ問題を一時期のブームとして忘却させないために効果的かつ重要である。

またイベント等の開催により、参加者の知識を掘り下げて、定着率の向上を図ることができる。以下に一般(子ども)を対象とした、ヒアリだけでなく外来種に対する興味関心を持ってもらうことを目的としたプログラムの一例を紹介する。こうしたプログラムをパッケージ化していくことで、より多くの対象者へ情報を届けることが可能となる。

※実施に関する問い合わせは、沖縄科学技術大学院大学(OIST)沖縄環境研究支援セクションまで。

【概要】

研修名	あなたも今日からアリ博士
内容	3Dアリ模型と検索表を使ったアリ種の同定体験。外来種についての話。
所要時間	40～60分（通年実施可能）
会場	会議室や体育館など 屋内が好ましい
対象者	小学生以上 一般
参加人数	10～60人／1回

【内容】

時間	内容
00:00	開始/司会挨拶 導入劇(外国からやってきて侵入しようとするヒアリを参加者が見破るというストーリー)
00:10	検索表の使い方説明
00:15	同定体験開始(4体の3Dアリ模型を見ながら検索表を追い、各アリの名前をあてる)
00:35	答え合わせ
00:40	外来種について(外来種って何?どんな影響があるの?みんなにできること)
00:50	終了



導入の劇



同定体験

3. 各種普及ポスター

(1)関係者向け

どうやって見分ける？ 見つけたらどうする？

ヒアリ から沖縄を守る！

ヒアリは、人間の貿易活動と一緒に世界中に広まった南米原産の外来アリです。すでに、アメリカ合衆国、オーストラリア、台湾、中国などへ侵入・定着しています。日本では、平成29年に初めて本土の港で発見されましたが、沖縄県内ではまだ記録がありません。（平成29年5月現在）。

ヒアリ 【特定外来生物】 ※特定外来生物は外来生物法により、狩猟、運搬等が禁じられています。

【ヒアリの見分け方】

背中にとげがない
2つの脚がある

お腹だけ黒い色

腹部 赤黒い色になる

触角の先端2節が大きくなる
（先端角の全長が3つ節、先端角は約2倍長い）

【ヒアリの特徴】

体の色は赤褐色で、お腹の部分は黒い色をしています。攻撃性が強く、お尻の毒針で刺して攻撃する。体長2.5～6mm程。

※脚の色からお尻の先までの長さ

【ヒアリの害】

地面に作る巣は、大きな穴になる。棒などでつつくと働きアリが集団でロケット状に出てくる。

実寸大  1つの巣の中に数々のサイズの異なるアリが混在している。

沖縄県内で見られる、よく似たアリ

オオシワアリ【外来種】	アミメアリ【外来種】	ツヤオオズアリ【外来種】
<p>色と体型は、ヒアリによく似ているが、背中にとげがある。アリ腹は作らない。体長約3mm。</p> <p>実寸大  1cm</p>	<p>色と体型は、ヒアリによく似ているが、背中にとげがある。アリ腹は作らない。体長約2.5mm。</p> <p>実寸大  1cm</p>	<p>色と体型は、ヒアリによく似ているが、背中にとげがある。腹の大きな黒帯アリが見られることがある。強いアリ腹を作すが、つついても攻撃してくることはない。体長2-3.5mm。</p> <p>実寸大  1cm 1つの巣の中に2種類のサイズの異なるアリが混在している。</p>

万が一ヒアリに刺されたら

①必ず消毒を強く
②30分ほど安静にし、痒みに変化がないか注意する
③痒みが悪化した場合は「耐痒、ヒメゲ、抗痒、じんましん薬」、また医療機関を受診し、アリに刺されたことを伝える
※特にアレルギー反応がない場合は、受診する必要はありません

もしもヒアリを見つけたら

①少許の個体をプロピレングリコールもしくはアルコールを入れた容器に採取する
②下記連絡先まで送付する
採取場所・採取日時を伝えてください
※採取しないように注意してください

アリってどんな生き物？

アリは、種類も個体数も多く、様々な生物との関わりを持っているため、生態系の中で重要な役割を担っている生き物です。

種々のことからいって、なやみやたらと駆除しないようにしてください。まずはヒアリかどうかを確認し、正しく行動する必要があります。

連絡先： 沖縄県環境部自然保護課
098-866-2243
〒900-8570 沖縄県那覇市美里1丁目2番2号

作成： 沖縄科学技術大学院大学（OIST）
OKEON美ら森プロジェクト

※本ポスターは、その原稿データを各関係機関が保管し、適宜再発行する。

(2)一般向け

もしかして私のせい？

外来生物法で規制される事項

外来生物法に違反した場合には、最高で個人の場合3年以下もしくは300万円以下の罰金またはその両方、法人の場合は1億円以下の罰金科せられます。防除の責務が必要となった場合においては、原因者責任も問われます。

見慣れない水草が水がめめに浮かんでいたり、庭や畑で急に増えてきた植物はありませんか？
特定外来生物を扱っているのは、あなたがもしません。身近な自然についてふだんから見つけ、個別的な外来種の早期発見・初期防除をお願いします。

特定外来生物に関する詳しい情報は、以下のホームページをご覧ください
 環境省 自然環境保全課 特定外来生物対策室 <http://www.maff.go.jp/kyushu/evn/gp/naba/wildlife/index.html#gaiin>
 環境省 自然環境保全課 特定外来生物対策室 <http://www.maff.go.jp/natural/index.html>
 沖縄県 自然環境保全課 特定外来生物対策室 http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizenhogo/gairaisyuu_hairi.html
 沖縄県 自然環境保全課 特定外来生物対策室 http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizenhogo/gairaisyuu_hairi.html
 沖縄県 自然環境保全課 特定外来生物対策室 <https://okeon.unit.oist.jp/>

【編集・発行】
 環境省 沖縄奄美自然環境保全課
 〒900-0001 沖縄県那覇市首里1丁目2番24号
 沖縄県 環境部自然保護課
 〒900-0001 沖縄県那覇市首里1丁目2番24号
 沖縄県 環境部自然保護課
 〒900-0001 沖縄県那覇市首里1丁目2番24号
 OIST
 〒900-0001 沖縄県那覇市首里1丁目2番24号

特定外来生物に指定されているヒアリについて、全国主要港湾において環境省により調査が行われています。また、沖縄県内では、沖縄科学技術大学院大学(OIST)らから、県の事業委託により調査が続けられています。国内では2017(平成29)年に本県の港湾ではじめて発見されましたが、県内での定着は確認されていません。

写真のように土で大きな塚を作ります。1つの塚にいろいろな大きさのアリが混在しています。攻撃性が強いため、塚などを壊すにつつくくと集団でワックと出て来て襲いかかるのが特徴です。

ヒアリの被害

もし、ヒアリに刺されたら…
 ヒアリに万が一刺された場合、強い痛みや腫れを感じます。人によっては30分ほどで腫頭赤や痒みなどの全身症状が出ることもあります。少しでも異常を感じたら、すぐに近隣の医療機関でアリに刺された旨を伝え受診してください。

軽度 強い痛み、10時間ほどで腫れる
 中度 部分麻痺、または全身に痒みや腫れ
 重度 呼吸困難、血圧低下、意識障害、すぐに医療が必要

アリの仲間内で見られる、よく似たアリ
 アリの仲間内で300種あまりが記録されており、そのうちの多くが沖縄県内で見られます。ヒアリと同じように赤〜赤茶色をした小型のアリも多く存在し、生態系の中で重要な役割を果たしています。専門家でも顕微鏡で見なければ種の同定は容易ではありません。ヒアリの特徴である「塚がまかりにない」点、まず確認してください。

アキアアリ 体長2.5mm
 体色は赤茶色から黒色まで幅広い種類があります。餌は主に植物の蜜です。
 オオアアリ 体長3mm
 体色は赤茶色から黒色まで幅広い種類があります。餌は主に植物の蜜です。
 ヲオオアアリ 体長2mm〜3.5mm
 体色は赤茶色から黒色まで幅広い種類があります。餌は主に植物の蜜です。

ヒアリに関するお問い合わせ・連絡先
 環境省 沖縄奄美自然環境保全課 ヒアリ相談ダイヤル
 098-836-6400・0570-046-110

※本ポスターは、その原稿データを各関係機関が保管し、適宜再発行する。